

紺碧

こ ん へ き

夏

SUMMER
2024 vol.11



特集

特集

地域の腎臓病患者さんが
安心できる施設に

さやま腎クリニック | 池田 直史 院長

地域の腎臓病患者さんが安心できる施設に



さやま腎クリニック 院長

いけだ なおふみ
池田 直史

- ・臨床研修指導医
- ・日本内科学会認定医
- ・日本内科学会認定総合内科専門医
- ・日本腎臓学会認定専門医・指導医
- ・日本透析医学会専門医・指導医・評議員
- ・日本高血圧学会認定専門医
- ・日本救急医学会ICLSコースディレクター
- ・日本内科学会JMECCインストラクター
- ・日本医師会認定産業医
- ・身体障害者指定医
- ・医学博士（埼玉医科大学）

腎臓病の患者さんは全国的にも多く、その治療法は進行段階によって異なり、生活の質にも大きく影響します。狭山市西部にあるさやま腎クリニックでは、地域の腎臓病患者さんに寄り添った、質の高い医療を提供しています。その治療や施設での取り組みについて、院長の池田直史医師にお話を伺いました。

地域の腎臓病患者さんを診るために

さやま腎クリニックは、地域に根ざした腎臓病専門のクリニックで、透析治療だけでなく、腎臓病に関わるすべての患者さんを診療することが可能です。また、グループ施設である埼玉石心会病院、さやま総合クリニックとの連携により、治療のトータルケアを行うことができるのも特徴です。

埼玉県の災害拠点透析施設にもなっていることから、災害時にも透析を継続できる体制を整えています。私自身が埼玉西部ブロックの

責任者を務めており、日頃から情報交換やシミュレーション訓練を実施して備えています。

患者さんと多くの専門職が協働して質の高い治療を提供

患者さんによって体の状態はさまざまです。当クリニックでは、医師、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、薬剤師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど多くの専門職が日々情報共有をし、患者さんと相談しながらテーラーメイドな医療を行っております。患者さんそれぞれにとっての最善な状態

を目指す治療を、患者さんと一緒に行うことが大切です。

患者さんに寄り添った治療の選択を

当クリニックの透析治療は、一般的な血液透析に加え、腹膜透析、在宅血液透析も行っており、特に全国的にもまだまだ多くはない在宅血液透析の普及に努めています。在宅血液透析のメリットは、適正透析の指標であるHDP（ヘモダリアリシスプロダクト）でいう70以上をクリアできる点にあります。施設で行う血液透析は36であるのに対し、在宅血液透析では75となるため、効果的な毒素除去と栄養の補充が可能で、予後の改善も期待できることです。

腹膜透析は、早期に始めることで残存している腎臓の機能を保持することができます。また、心不全をあわせもつ血行動態が不安定な患者さんには特に有効です。近年、心不全患者は増加の一途をたどり、「心不全パンデミック」とも

言われています。腹膜透析は特に心腎不全の患者さんの治療の一つの選択肢として注目されてきております。

早期治療のためにも腎臓病の早期発見を

腎臓病はサイレントキラーとも呼ばれ、早期発見が難しいため、年に一度の健診を受け、特にたんぱく尿の有無をチェックすることが重要です。たんぱく尿が出ている場合は腎臓内科を受診してください。また、すでに腎臓病をお持ちの方は、ご自身の腎機能にあわせて用量調整が必要な薬剤や禁忌の薬剤、検査などがありますので、他の医療機関を受診する際には腎臓病であることを必ず伝えるようにしましょう。

腎臓病は、早期からの医療が重要です。私たちは地域の腎臓病の方々が安心して治療していただけるように、患者さんに寄り添った治療を今後も続けていきたいと思っています。



HDP（ヘモダリアリシスプロダクト）

適正透析の指標 **70** 計算式「時間×回数の2乗」

血液透析
4時間×週3回の2乗 = **36**

在宅血液透析
3時間×週5回の2乗 = **75**

質の高い透析治療が可能に!!

▲カンファレンスの様子
医師、看護師、臨床工学技士など多職種によるミーティングを定期的に行い、情報共有を密にしています。

透析の質を支える

臨床工学技士

臨床工学技士（CE）は、医学的・工学的知識を持ち、機器の操作や保守点検など、特に透析治療の質を支える重要な役割を担っています。室長の久保和俊にお話を伺いました。



常にクリーンな透析液を供給するため、精度の高い水質検査を行っています。

臨床工学技士としての仕事

臨床工学技士は、主に透析治療の環境づくりをしています。透析準備や機器操作、管理に加え、患者さんの体調管理やシャント（※1）や動脈表在化と呼ばれる血管に針を刺す行為を医師や看護師と共にしています。特に透析液は患者さんの体内に入るものですから、慎重に扱っています。

また、透析機器があるフロアで医療機器の管理、バスキュラーアクセス管理（※2）、透析で使用する水質の管理、在宅血液透析への対応、臨床検査技師と共に行う検体検査管理、腎臓リハビリテーションなど、多岐にわたる業務もチームで役割分担しながら行っています。災害時に備えた無線機訓練も実施しています。

治療の環境づくりのために

医療機器は更新されますし、医療情報も常に新しくなっています。患者さんのニーズに対応できるように、私たちも技術や知識

識の向上、学会活動、医療系学生への指導も行っています。今後も、患者さんが安心して治療をしていただけるための環境づくりに貢献していきたいと思っています。

※1 シャント

血液透析を行う際、血液量が十分に確保できるように、動脈と静脈を体内または体外で直接つなぎ合わせた血管のこと。

※2 バスキュラーアクセス管理

バスキュラーアクセス（以下VA）の閉塞は透析継続を困難にし、生命に関わる問題となり得るため、閉塞に至る前の発見が重要です。透析毎にVAの触知、聴診等で理学所見を確認し、異常が認められた場合には超音波診断装置で検査を行います。また、治療適応には医師による経皮的血管拡張術（PTA）のサポートを行います。VAの閉塞を未然に防ぐ体制をとっています。



さやま腎クリニックの特徴

1 腎臓病におけるトータルケア

腎臓病におけるすべての患者さんへ包括的な医療を提供しています。入院治療が必要な場合は、埼玉石心会病院と連携し、万全のバックアップ体制を整えています。

2 多職種の「協働医療」

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床工学技士など、多職種の協働により、患者さんの生命予後の改善、QOL（生活の質）の維持を目指します。

3 個々に合わせた透析治療が可能

一般の血液透析だけでなく、腹膜透析、在宅血液透析など、患者さんの状況に合わせた透析が選択肢として提供できます。

4 災害時に強い設備 質の高い透析用水

災害に強い設備を完備し、緊急時にも安全かつ安定した透析治療を提供します。精度の高い水質検査で地元「狭山」のクリーンな透析液を使用しています。

施設概要



名称	社会医療法人財団 石心会 さやま腎クリニック
住所	〒350-1305 埼玉県狭山市入間川 4-15-20
TEL	04-2900-3333
設備	人工透析室 106 床（オンラインシステムコンソール 102 台、個人用コンソール 4 台） デジタル多目的 X 線テレビ、 一般撮影装置、骨密度測定装置、 超音波診断装置、心電計、SPP、水質管理室

ホームページ



医師、看護師、臨床工学技士、医療事務、薬剤師、臨床検査技師、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど、それぞれの専門性をいかし、協力し、より良い医療の提供ができるよう努力を続けてまいります。



連携・登録医療機関のご紹介

医療法人尚寿会 狭山尚寿会病院



医療法人社団尚寿会 理事長
医療法人尚寿会 狭山尚寿会病院 院長
寶積 英彦先生

尚寿会グループは、1979年に大生病院を起源に開設以来45年間にわたり、地域の回復期から慢性期医療に尽力して参りました。2004年には、隣接地に認知症医療を中心としたあさひ病院を開設。

同病院は、2015年に認知症疾患医療センターの指定を拝命し、地域医療体制の充実に全力で取り組んで参りました。

近隣の医療機関や地域住民の皆様へ、より親しみやすくアクセスの良い医療機関となるべく、窓口の一本化や機能の集約を目的として、2024年6月1日に両病院を統合し、名称を「狭山尚寿会病院」とする運びとなりました。

「信頼と愛とで築く地域医療」を理念に掲げ、疾患のみではなく、その方の人生を診る常に優しい医療(コト医療)機関であり続けたいと思っております。

「コト医療」とは?

手術や薬剤処方などの必要な医療、ADL向上などの質の高い医療・介護・福祉サービスを提供するだけでなく、より患者様とご家族様が満足感を得られるような情緒的な価値・経験を提供することです。

診療科目

内科・精神科・心療内科・老年精神科(認知症)
歯科・歯科口腔外科・放射線診断科
リハビリテーション科・循環器内科
消化器内科・皮膚科・美容皮膚科・リウマチ科
※緑色のみ予約制

住所 〒350-1317 埼玉県狭山市水野 600

電話 04-2957-1141



診療時間

内科/ 老年精神科 (認知症)	月	火	水	木	金	土日祝
	○	○	○	○	○	—
診療時間	■ 午前8:45~12:00		午後13:00~17:00			

皮膚科	月	火	水	木	金	土日祝
	—	○	○	—	○	—
診療時間	■ 午前8:45~12:00		午後14:00~17:00			



<https://taisei-hosp.jp/>



<https://asahi-hosp.jp/>

診療科目

脳神経内科・内科

住所 〒350-1101 埼玉県所川越市大字的場 1215-3

電話 049-299-8687



診療時間	月	火	水	木	金	土日祝
8:30~11:00	○	○	○	○	○	—
13:45~17:30	○	—	○	○	○	—



<https://narukawa-neurology.com/>

なるかわ内科・脳神経クリニック



院長 成川 真也先生

当院は末梢神経と筋肉の診療を強みとしております。手足のしびれ、脱力、ふるえなどは、原因が脳ではなく、末梢神経・筋肉に認められることがあります。その場合、筋電図・神経伝導分野専門医である院長が、末梢神経伝導検査、筋電図検査を行い、ALS(筋萎縮性側索硬化症)、糖尿病性末梢神経障害、CIDP(慢性炎症性脱髄性多発神経炎)、筋疾患などの診断を行います。

高血圧、脂質異常症、糖尿病などの内科診療、脳神経内科では、認知症、頭痛、パーキンソン病、脳卒中の慢性期、睡眠障害などの診療で地域の皆様へ貢献させて頂いております。

患者様のお気持ちに寄り添い、自分らしい人生を歩むための力になることを理念としており、地域の皆様が安心して日々を過ごすための診療を行うことを意識しております。



埼玉石心会病院
看護部
Instagram

埼玉石心会病院 看護部 『ナースまつり2024』ステージに登壇

2024年7月10日(水)~12日(金)に東京ビッグサイトで開催された『ナースまつり2024』のステージに埼玉石心会病院・看護部より都築瑠美看護師と黒田夏鈴看護師が登壇しました。

数多くの医療機関がSNSを運用している中、埼玉石心会病院・看護部では、看護師たちが内容を考え、投稿やレポーターを行っていることの独自性が評価され、このイベントで発表をすることになりました。

二人は7月11日(木)に行われた『看護師のやりがいを支える!? SNS採用の実際』をテーマにしたステージにて、多くのお客さんの前で明るく、分かりやすく発表を行いました。

看護部のInstagramは、看護師たちが日々の業務や取り組みを紹介しています。どなたでも閲覧ができますので、是非ご覧ください。

梶原悠未選手(石心会グループ契約選手) パリ2024 オリンピック 2種目出場

石心会グループ契約選手の梶原悠未選手がパリオリンピック・自転車競技で2種目に出場しました。『チームパシュート』は予選敗退、『オムニアム』では17位という結果でした。メダル獲得とはなりませんでした。全力で戦う姿に多くの方が感動を覚えたことと思います。引き続き梶原選手の応援をお願いいたします。

今後も石心会グループは、スポーツ等の文化を通じた社会貢献にも取り組んで参ります。



病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

医療情報を“もっと”お手軽にGET! [みんなの健康塾ちゃんねる](#)

公式SNS



WEB



LINE

優しくて頼りになる医療・福祉を目指します。

石心会グループ 埼玉地区

社会医療法人財団 石心会
埼玉石心会病院

〒350-1305 狭山市入間川2-37-20
TEL 04-2953-6611 (代表)
<https://saitama-sekishinkai.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま総合クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-25
TEL 04-2953-9995 (外来予約センター)
〈月～金〉8:00～19:00 〈土〉8:00～17:00
〈日・祝日〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-cl.jp/>
TEL 04-2900-2223 (健診予約)
〈月～金〉8:30～18:00
〈土〉8:30～12:30 〈日・祝日〉休
<https://www.sayama-doc.jp/>



社会医療法人財団 石心会
さやま腎クリニック

〒350-1305 狭山市入間川4-15-20
TEL 04-2900-3333
〈月～土〉8:30～17:00
<https://sekishinkai-sayama-jin.jp/>



社会医療法人財団 石心会
いきいき訪問看護ステーション鶯ノ木

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-2060
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/ikiiki.php>

社会医療法人財団 石心会
狭山市入間川・入間川東地域包括支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2955-1114
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/irumagawa.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会介護支援センター

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2953-6777
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/sekishinkai.php>

社会医療法人財団 石心会
石心会ヘルプーステーション

〒350-1305 狭山市入間川4-10-15 TEL 04-2900-1302
<https://saitama-sekishinkai.jp/localcare/helperstation.php>

医療法人社団 東京石心会
さやま地域ケアクリニック

〒350-1323 狭山市鶯ノ木1-33 TEL 04-2955-5000
<https://sayama-care.jp/>

社会福祉法人 石心福祉会
特別養護老人ホームオリーブ

〒350-1313 狭山市大字上赤坂290-1 TEL 04-2950-2400
<https://sayama-olive.jp/>



Cover Photo Story

さやま腎クリニック
池田直史 院長



紺碧は、埼玉の広大な大地の上に広がる濃紺の空をイメージしています。地域の皆さんへ医療・福祉に関する情報を幅広く、深くお伝えしていきたいと思っています。



社会医療法人財団
石心会